

平成22年度
事業計画書

横浜市桂山公園こどもログハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

横浜市桂山公園こどもログハウス事業計画書

1 施設運営に関する職員体制及び職員育成の考え方について

- (1) 職員の配置及び採用について
- (2) 職員の研修計画について

(1) 職員の配置及び採用について

- ・ログハウススタッフ（9時～13時2人、13時～17時2人）を、12人（6組）採用し、2人1組のローテーション勤務とすることにより、こどもの見守りや事故への対応などが迅速に行えるよう、またスタッフの急病・休暇への対応も速やかに取れる体制として、開館に支障がないように配慮してまいります。
- ・採用については、原則として短時間で通勤可能な地域住民で、こどもが好きで、優しさと厳しさ両面を持った方を採用してまいります。

(2) 職員の研修計画について

多様化するニーズに適切に対応するためには、職員一人ひとりの能力向上は勿論のこと、利用者サービスに徹することが求められており以下の研修に取り組みます。

- ・新採用した職員を対象に、業務内容・接遇・個人情報保護等の研修
- ・全職員に対し、年2回、接遇・人権・利用者サービス・救命等の研修

2 個人情報の保護について

(1) 個人情報保護に関する措置

「横浜市個人情報の保護に関する条例」及び平成17年4月1日から施行された「個人情報保護法」に基づき、適切に対処してまいります。

特に、指定管理者募集要項の中で示された、個人情報特記事項につきまして厳守してまいります。そのため、職員採用時のほか年1回職員研修を実施し個人情報保護に関する誓約書に署名させ、守秘義務は退職後も及ぶことを徹底してまいります。

桂山公園こどもログハウス利用者の個人情報の収集は、必要最小限にとどめ、二次使用は一切行わず、不要になったものは、その段階で全て廃棄してまいります。こうした考え方を全職員に徹底してまいります。

施設内に個人情報の扱いについて、利用者に分かりやすく掲示してまいります。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 こどもログハウスの管理運営に対する基本方針

- (1) 桂山公園こどもログハウスの指定管理者を希望する理由
- (2) 申請団体における桂山公園こどもログハウスの管理運営の位置づけ
- (3) 申請団体が目指すこどもログハウスの管理運営の基本方針

(1) 桂山公園こどもログハウスの指定管理者を希望する理由

特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会の前身である区民利用施設協会は、14年にわたり、こども同士の遊びを通じた健全育成の場・養育者の交流の場・保育不安の解消支援の場として、運営委員会と一体となって、こどもログハウスの運営に係わってまいりました。

永年培った経験と地域との繋がりを大切にしながら、引き続き桂山公園こどもログハウスの管理運営を行ってまいります。

(2) 当団体における桂山公園こどもログハウスの管理運営の位置づけ

桂山公園こどもログハウスは、すでに17年の歴史をもち、地域に溶け込み、こどもたちに親しまれ、年間約5万人近くの方々に利用されております。湘南桂台住宅地の桂山公園内にあり、地元自治会・町内会とも密接な関係を保ちながら、現在まで円滑な管理運営を行っております。

また、小・中学生及び未就学児童を伴った若い母親等の、地域の良き交流の場ともなっております。

当支援協会は、地区センター、老人福祉センター、コミュニティハウス及びこどもログハウス等の管理運営を行うことにより、地域コミュニティの醸成に努めており、こどもログハウスはこども及び養育者を中心とする憩いの場・交流拠点として重要な施設と位置づけております。

(3) 当団体が目指すこどもログハウスの管理運営の基本方針

こどもたちの遊ぶ場所が、年々少なくなっている昨今、こどもログハウスは、木のぬくもりを感じながら、安心して遊具を使ったり、自由に駆け回ったりして、遊ぶことのできる屋内施設であります。

こども同士の遊びを通じ健全育成に貢献し、育児不安の解消や発育状況を確認できるなど誰でもが利用できる施設ですので、怪我や事故防止を徹底するとともに、「利用者の声」などによせられた意見などを事業に反映した利用者本位の取り組みを大切にすることを基本方針としてまいります。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

4 地域及び利用者ニーズの把握と運営への反映について

- (1) 申請団体がとらえた地域や利用者のニーズ
- (2) 地域及び利用者ニーズの把握方法について
- (3) (2) で把握したニーズの運営への反映の仕方について

(1) 当団体がとらえた地域や利用者のニーズ

少子高齢化が進み地域活動の担い手が不足していて、各地域での住民間の交流が進まず、顔の見える関係が構築できない課題があります。そのため、育児不安の相談・その他子育て相談など気軽に地域で相談したり話し合えるご近所が殆どいません。養育者は、気軽に訪れて相談したり・話し合える場所、また、こどもが、安全で、安心して楽しく遊べる場所を求めています。

桂山ログハウスは、そうした利用者ニーズを受け止め、異世代交流や仲間づくりをしながら育児相談ができ育児不安の解消ができる施設としての、役割を担っております。

(2) 地域及び利用者ニーズの把握方法について

桂山公園こどもログハウスの、運営委員会は、地元の自治会・町内会、青少年指導員、子供会等の代表及び保育園長、小・中学校長、PTA 会長等により組織されております。

利用者のニーズの把握については、運営委員会で出された意見や毎年実施している施設運営についてのアンケートや利用者からの要望などあらゆる機会を通して、利用者ニーズ等の把握に努めてまいります。

(3) (2) で把握したニーズの運営への反映の仕方について

把握したニーズにつきましては、その実現可能性を検討し、できるかぎり施設運営や自主事業に反映するよう事業計画を作成し実施してまいります。

また、スタッフが他区の施設を見学し、運営方法・安全対策・自主事業の取り組みなどを参考にして、さらに利用者ニーズを反映した窓口対応・事故防止・自主事業に取り組んでまいります。

※ A 4 版 1 枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

5 自主事業の提案について

(1) 自主事業計画に関する基本方針

※ 具体的な計画については、様式3及び様式4に記載すること

- 桂山公園こどもログハウスは、地域のこどもたちが、安全で安心して遊べる施設であります。また、施設を利用するこどもたち及びその親達が、少しでも楽しく、また繰り返し利用したくなるように利用者要望を考慮した自主事業の企画を基本方針としてまいります。
- 利用者のニーズも反映させ、「ひなまつり」「こどもの日」「七夕」などの季節ごとの行事に工作で日本の伝統や遊びの伝承を知ってもらえるように、また「母の日」「父の日」「敬老の日」に家族へささやかなプレゼントを手作りすることで、家族の絆を強め、思いやりの気持ちを感じてもらえるよう計画してまいります。さらに、「ロッキーまつり」等、こどもたちが作品を作る喜びや大勢で遊ぶ楽しさを味わえるような事業を企画し、実施してまいります。
- また、予期せぬ事故・事件に遭遇したことを想定し、未就学児を同伴した保護者向けにケガなどの救急手当方法、小学生向けには防犯教室を開催し、地域の方々の安全にも寄与したいと考えております。

平成22年度目標値

○利用者数

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
合計数	46,158	40,009	47,542	48,000
前年比	97.2%	86.7%	119%	103%

平成20年度は、長寿命化工事（21.1.19～3.13）のため休館

○事業数

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
合計数	8	8	17	18

○コメント

利用者数は、最近では若干減少傾向にありますが、平成20年度末に長寿命化工事に合わせて改装したので、新たな利用者を期待しています。また、それに伴う広報活動にも力を入れたり、自主事業数も増やし、防犯教室なども開催し、利用者にもいろいろなことを体験して頂き、来てよかった・また行ってみたいと思われるような取り組みをしたいと考えております。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

6 利用者の安全対策について

- (1) 安全にサービスを提供するための対策について
- (2) 事故が発生した場合の具体的な対応について
- (3) 防犯対策（不審者の侵入等）について

(1) 安全にサービスを提供するための対策について

桂山公園こどもログハウスにおいては、こどもたちが、安全で安心して遊べることを、最も重要と考えております。そのために、利用者への注意喚起のポスター掲出を行うほか、全職員が、点検マニュアルに添って毎日点検し、施設の安全点検に気を配っております。危険個所が判明した場合は、速やかに対策を講じてまいります。また、横浜市新型インフルエンザ対策本部からのお知らせを基に、手洗い・うがいの励行等注意喚起を行っております。

また、混雑時には出会い頭の衝突などによる怪我や事故を防止するため利用者に適宜、注意喚起をするなど安全面に配慮した対応を心がけてまいります。

また、防災訓練・避難訓練などを年2回実施し危機対応の習熟に努めてまいります。

(2) 事故が発生した場合の具体的な対応について

○事故対応のマニュアルを作成し、全職員に徹底してまいります。また、施設賠償保険（見舞費用担保特約付）に加入し、対応してまいります。

マニュアルの主な内容は、次のとおりです。

- ① 怪我の確認及び手当
- ② 保護者との連絡
- ③ 救急車の手配
- ④ 当施設協会事務局へ連絡→区役所へ連絡
- ⑤ 事故報告書の作成
- ⑥ 翌日、怪我の具合を、家族へ確認する。等

(3) 防犯対策（不審者の侵入等）について

○不審者等の対応マニュアルを作成し、全職員に徹底してまいります。

その主な内容は、次のとおりです。

- ① 不審者から、目を離さないこと
- ② 不審者が、変な行動に出たら、速やかに、「非常ブザー」を押す
- ③ 「110」通報する
- ④ こどもたちを安全な場所に誘導する

○警備会社と、「非常ブザー」による、連絡体制を図ってまいります。

○近隣交番との連携を、日常的に行い、緊急時の対応に備えてまいります。

○神奈川県等の協力により、「防犯講習」を、実施してまいります。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

7 管理経費に関する考え方

- (1) 効率的な管理運営のための具体的な計画について
- (2) 経費節減のための工夫について

(1) 効率的な管理運営のための具体的な計画について

- ① ログハウスの設立趣旨・活動目的を理解しこどもが好きであることはもとより、地域活動に意欲があり養育者やこどもにおもてなしの心を持って対応できる人材を、地域住民を中心に選考して円滑な運営を心がけてまいります。
- ② ミーティングや連絡帳による伝達など職員間のコミュニケーションを積極的に図り連絡ミス・引継ぎミスなどの防止を図るとともに、業務研修を徹底し、効率的かつ安定的な運営に努めてまいります。

(2) 経費節減のための工夫について

- ① 施設管理・会計経理事務等を、当施設協会が一体的に行うことで、経費を節減するとともに、管理費の縮減を図ってまいります。
- ② 施設を安定的に管理運営するために、永年培った経験により、廉価で、堅実な施設管理業者と業務提携することにより、利用しやすい施設サービスを図ってまいります。
- ③ 自主事業等で作成する工作の材料は、紙パックやトイレットペーパーの芯など廃材を集めて有効に利用し、材料費の削減に努めてまいります。
- ④ 簡易な故障・破損等は、できるかぎり業者に頼まず自らの工夫で修理するように努めてまいります。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

桂山公園子どもログハウス自主事業計画書

【平成22年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たりの参加費	自主事業予算額						
		総経費	収入		支出			
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他	
(伝統行事) こどもの日 ～かぶととかたなで元気に遊ぼう～	幼児～小学生 100 0	2,000		2,000			2,000	
(家族) 母の日 ～おかあさんに感謝を込めて～	幼児～小学生 100 0	2,000		2,000			2,000	
(家族) 父の日 ～おとうさんに感謝を込めて～	幼児～小学生 100 0	2,000		2,000			2,000	
(講習会) 救急手当て教室 ～若いパパママへ、いざというときに～	幼児と保護者 20 0	0		0			0	
(伝統行事) 七夕 ～星に願いを～	幼児～小学生 100 0	2,000		2,000			2,000	
(講習会) 小学生向け防犯教室 ～防犯力を身につけよう～	小学生 30 0	0		0			0	
(生活) 夏休み工作教室 ～夏休みの宿題のヒントに～	幼児～小学生 100 0	3,000		3,000			3,000	
(おまつり) お絵かき大賞 ～ロッキーにまつわる絵を書こう～	幼児～小学生 100 0	2,000		2,000			2,000	
(家族) 敬老の日 おじいちゃんおばあちゃんと一緒に遊ぼう～	幼児～小学生 100 0	2,000		2,000			2,000	
(生活) ハロウィン ～かぼちゃのおぼけが～	幼児～小学生 100 0	2,000		2,000			2,000	
(おまつり) 第19回ロッキーまつり ～みんな集まれ！～	幼児～中学生 — 0	20,000		20,000		6,000	12,000	2,000
(生活) クリスマス ～ロッキーのクリスマスを楽しもう～	幼児～中学生 100 0	9,000		9,000		6,000	3,000	

桂山公園子どもログハウス自主事業計画書

【平成22年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たりの参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
(伝統行事) お正月 ～昔ながらの遊びを伝えよう～	幼児～小学生 100 0	2,000	2,000			2,000	
(伝統行事) 節分 ～ロッキーで豆まき～	幼児～小学生 100 0	2,000	2,000			2,000	
(伝統行事) ひなまつり ～たまにはおしとやかに～	幼児～小学生 100 0	2,000	2,000			2,000	
(生活) 読み聞かせ ～みんな静かに聞こう～	幼児～小学生 100 0	0	0			0	
(記念行事) 祝100万人達成！ ～100万人目は誰になるかな？～	幼児～中学生 — 0	5,000	5,000			5,000	
(遊び) 今年もイベントスタンプラリー ～何回来てくれたかな？～	幼児～小学生 — 0	3,000	3,000			3,000	
18事業		60,000	60,000	0	12,000	46,000	2,000

桂山公園こどもログハウス自主事業別計画書

【平成22年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事) こどもの日 ～かぶととかたなで 元気に遊ぼう～	目的 施設に5月人形を飾り、日本の伝統行事であるこどもの日を過ごしてもらおう。 内容 新聞や廃材などを利用して、スタッフの指導でかぶととかたなを子どもたちに作ってもらおう。実際にかぶとをかぶり、かたなで遊んだり、家に持ち帰って家族で遊んでもらおう。	実施時期 5月 回数 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(家族) 母の日 ～おかあさんに 感謝を込めて～	目的 おかあさんや家族への感謝の気持ちを込めて、カードなどを作って、子どもたちからおかあさんや家族へプレゼントしてもらい、親子などのコミュニケーションを手助けする。 内容 色画用紙などを使って、子どもたちにカードなどを手作りしてもらい、持ち帰ってお母さんや家族にプレゼントしてもらおう。毎年恒例の行事だが、カードやプレゼントの工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。	実施時期 5月 回数 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(家族) 父の日 ～おとうさんに 感謝を込めて～	目的 おとうさんや家族への感謝の気持ちを込めて、カードなどを作って、子どもたちからおとうさんや家族へプレゼントしてもらい、親子などのコミュニケーションを手助けする。 内容 色画用紙などを使って、子どもたちにカードなどを手作りしてもらい、持ち帰ってお父さんや家族にプレゼントしてもらおう。毎年恒例の行事だが、カードやプレゼントの工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。	実施時期 5月 回数 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(講習会) 救急手当て教室 ～若いパパママへ、 いざというときに～	目的 子どもたちがケガした時、または何かを誤飲した時など緊急時に慌てずに対処できるように、お父さんやお母さんに学んでもらう。 内容 消防署の職員を招いて、子ども向けの蘇生方法、ケガをした時の止血方法、誤飲の際の対処方法など、救急手当ての方法を講習してもらおう。昨年からはじめて、非常にわかりやすくて確かな講習で好評だったので、毎年恒例の事業にしたい。	実施時期 6月 回数 1回

桂山公園こどもログハウス自主事業別計画書

【平成22年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事) 七夕 ～星に願いを～	目的 日本の伝統行事である七夕に、七夕飾りや短冊などを作り、子どもたちに願い事を考えることで、未来への夢や希望を考える時間を持ってもらう。 内容 毎年くすだま飾りなどきれいな飾りを施設に展示し、子どもたちに書いてもらった短冊を笹に飾って、七夕の雰囲気盛り上げている。子どもたちには短冊の他に、七夕飾りを作ってもらい、施設に展示したり、自宅を持ち帰ってもらう。七夕に向けて2～3日間開催する。毎年恒例の行事だが、工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。	実施時期 7月 回数 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(講習会) 小学生向け防犯教室 ～防犯力を身につけよう～	目的 夏休みはいる前に、小学生に向けて「知らない人に声をかけられたらどうするか」「遊びに行くときは家族に言ってから」などの自分たちで出来る防犯について学んでもらい、事故防止に努める。 内容 神奈川県研修担当職員を招いて、小学生向けに防犯について講習会を開く。実演をまじえて講習することで、夏休み中の防犯意識を持ってもらう。昨年からはじめた講習会でたいへん有意義な講習だったので恒例の事業にしたい。	実施時期 7月 回数 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活) 夏休み工作教室 ～夏休みの宿題のヒントに～	目的 静かに作品を作ることで、集中力を養い、また作り上げる喜びを味わってもらう。未就学児には親子で作る喜びを味わってもらう。 内容 身近な材料を使った工作を子どもたちに作ってもらい、施設に展示したり、自宅に持ち帰ってもらう。夏休み中に7日間ほど開催する。毎年恒例の行事だが、工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。	実施時期 8月 回数 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(おまつり) お絵かき大賞 ～1等賞をめざそう～	目的 いつも遊んでいる「ロッキー」に関する絵を描いてもらい、さらに親しみを持ってもらう。 内容 ロッキーに関する絵を施設内で描いてもらい、11月のロッキーまつりまで施設内に展示し、利用者に好きな絵に投票してもらう。ロッキーまつりに上位入賞者の絵を展示し、ささやかな記念品を贈呈する。	実施時期 8月 回数 1回

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(家族)	目的	実施時期
敬老の日	おじいちゃんやおばあちゃんに感謝の気持ちを込めて、カードなどを作りプレゼントする。また、近隣のお年寄りを招いて、子どもたちと一緒に遊んで楽しいひと時を過ごしてもらおう。	9月
～おじいちゃん、おばあちゃん 一緒にあそぼ～	内容	回数
	スタッフの指導の下で、カードなどを作り、おじいちゃんやおばあちゃんにプレゼントしてもらおう。プレゼント作りは2～3日で、最終日には近隣のお年寄りを招いて、紙飛行機、お手玉、けん玉など昔ながらのおもちゃで子どもたちと一緒に遊んでもらう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
ハロウィン	ハロウィンに向けてかわいらしい飾りを作って、施設に飾り付けしたり、自宅に持って帰ってもらい、ハロウィンを楽しむ。	10月
～かぼちゃのおぼけが～	内容	回数
	スタッフの指導の下で、身近な材料を使って、子どもたちにハロウィンの飾りを作ってもらい、施設に飾ったり、家に持ち帰ってもらおう。ハロウィンに向けて2～3日開催する。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(おまつり)	目的	実施時期
第19回ロッキーまつり	毎年恒例のロッキー誕生まつり。普段出せない遊具(トランポリンなど)やスタッフ考案の新しい遊びなどでたっぷり楽しんでもらう。また、マジックショーなど普段と違うロッキーを楽しんでもらうことと、広く広報することで新しい利用者の増加を図る。	11月
～みんな集まれ！～	内容	回数
	スタッフが全員で今までになかったゲームを作ったり、宝探しゲーム・ビンゴゲームなど毎年工夫を凝らしたロッキーまつりならではの遊びを考えて子どもたちに楽しんでもらう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
クリスマス	施設にクリスマスツリーなど飾り付けをし、クリスマスの音楽を流したり、子どもたちにクリスマス用の飾りを手作りしてもらい、みんなでクリスマスを楽しんでもらう。	12月
～ロッキーのクリスマス たのしもう～	内容	回数
	身近な材料を使って子どもたちにクリスマス用の飾りを飾りを作ってもらい、施設に飾ったり自宅に持ち帰ってもらおう。クリスマスに向けて2～3日開催する。また最終日にはボランティアの方に依頼して、クリスマスの曲をキーボード演奏したり歌ったりして子どもたちに楽しんでもらう。	

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
お正月 ～昔ながらの遊びを伝えよう～	日本に昔から伝わる、コマ回し・羽根つき・すごろく・かるたなどのお正月の遊びを通して、子どもたちに日本の正月や新しい年が始まる喜びを感じてもらおう。また普段のロッキーと違う遊びで楽しんでもらおう。	1月
	内容	回数
	コマ・羽子板・すごろくなどお正月の遊び道具を出して、子どもたちに自由に遊んでもらう。またルールを知らない子どもたちにはスタッフが指導し、数人のグループでの遊びを促して一緒に楽しむ。大きないろはカルタを作って身体を使って取りながら遊んでもらう。1月に7日ほど開催する。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
節分 ～ロッキーで豆まき～	鬼の面を作ったり、豆まきの真似事をして日本の古くからの節分という習慣を身近に感じてもらう。	2月
	内容	回数
	身近な材料を使って、鬼の面などを作り、古紙で作った豆で豆まきをする。毎年恒例の行事だが、工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。節分に向けて1月下旬から2月にかけて2～3日開催する。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(伝統行事)	目的	実施時期
ひなまつり ～たまにはおしとやかに～	施設に雛人形などを飾り付けし、簡単な雛人形の工作を作ってもらうことで、女の子のお祭りであるひなまつりを楽しんでもらう。	3月
	内容	回数
	身近な材料を使い子どもたちに簡単な雛人形を作ってもらい、施設に展示したり、自宅に持って帰ってもらいひなまつりを楽しんでもらう。毎年恒例の行事だが、工作は毎年違う物をスタッフが考え、指導しているので好評を得ている。ひなまつりに向けて2月下旬から3月上旬にかけて2～3日開催する。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(生活)	目的	実施時期
読み聞かせ ～みんな静かに聞こう～	子どもたちに絵本や紙芝居の読み聞かせを通して、面白さ、怖さ、驚きなどの感情を豊かにし、わくわくする時間を過ごしてもらおう。	7月 10月 2月
	内容	回数
	学生などのボランティアに4ヶ月に1回程度、絵本や紙芝居を子どもたちに読んでもらい、スタッフとは違う人たちとの交流を楽しんでもらう。ボランティアが増えて定期的な活動を依頼できれば、毎月行なうなど回数を増やしたい。	3回

桂山公園こどもログハウス自主事業別計画書

【平成22年度】

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(記念行事) 祝100万人達成！ ～100万人目は誰になるかな～	目的 今年度中に達成が予想される来場者100万人目を祝う。残り500人になったらカウントダウンの表示板を作って掲示する。 内容 今年度中に達成が予想される来場者100万人目を祝う。残り500人になったらカウントダウンの表示板を作って掲示する。100万人達成の際には、くす玉などを用意し、皆で祝福する。100万人目の来場者とその前後賞5名ずつにささやかな記念品をプレゼントする。	実施時期 10月頃 回数 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(記念行事) 今年もイベントスタンプラリー ～何回来てくれたかな？～	目的 スタンプラリーカードを用意し、1年間の15種類(ロッキーまつりと100万達成は除く)のイベントに参加してスタンプを集めてもらい、何回も来てもらえるようPRする。 内容 スタンプラリーカードを用意し、イベントに参加してくれるたびにスタンプを押してあげる。15種類(ロッキーまつりと100万達成は除く)のイベントに対して10個以上スタンプが集まった子どもたちにささやかなプレゼントをする。	実施時期 通年 回数 随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数
	目的 内容	実施時期 回数

平成22年度

収 支 予 算 書

横浜市桂山公園こどもログハウス

特定非営利活動法人
さかえ区民活動支援協会

平成22年度横浜市桂山公園こどもログハウス収支予算書

収入の部

科 目	指定管理料		
指定管理料	7,144,000		
利用料金収入			
自主事業収入			
雑入			
印刷代			
自動販売機手数料			
その他()			
その他()			
その他()			
収入合計	7,144,000		

支出の部

科 目	指定管理料		
人件費	5,138,000		
給与・賃金	5,097,000		
社会保険料	27,000		
通勤手当			
健康診断費	14,000		
勤労者福祉共済掛金			
事務費	435,000		
旅費	10,000		
消耗品費	205,000		
会議賄費	5,000		
印刷製本費	5,000		
通信費	100,000		
使用料及び賃借料			
備品購入費	30,000		
図書購入費			
施設賠償責任保険	50,000		
職員等研修費	5,000		
振込手数料	5,000		
リース料			
手数料	20,000		
地域協力費			
その他(諸費)			
事業費	60,000		
自主事業費	60,000		
管理費	941,000		
光熱水費			
電気料金			
ガス料金			
水道料金			
清掃費	200,000		
修繕費	300,000		
機械警備費	400,000		
設備保全費	41,000		
空調衛生設備保守			
消防設備保守			
電気設備保守			
害虫駆除清掃保守			
その他保全費	41,000		
共益費			
公租公課	257,000		
二一ズ対応費			
事務経費	313,000		
支出合計	7,144,000		

差 引	0		
-----	---	--	--